

東京 肝臓のひろば

令和7年(2025年)2月号 第264号

特定非営利活動法人 東京肝臓友の会

〒161-0033 東京都新宿区下落合4-27-5-201
電話 (03) 5982-2150 振替 00120-6-40564
FAX (03) 5982-2151 口座名 東京肝臓友の会
<http://www.tokankai.com>



山居倉庫 ～山形県・酒田市～

切り絵・佐藤廣士さん

新しい年を迎えて

特定非営利活動法人 東京肝臓友の会

理事長 川田義広



新年を迎えて会員の皆様、東京肝臓友の会へのご理解とご支援をくださった皆様に心から感謝を申し上げます。そして今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

今年、米国でトランプ政権が復帰しました。騒々しい時代が始まると不安でしたが、WHO脱退とんでもないことを持ち出しました。最高額の拠出金を出しているのに米国の意向に沿わないということですが、世界中が首を傾げています。ご自分も罹患した、あのコロナパンデミックを忘れたのでしょうか。大事にならず取まることを祈りましょう。

東京都で職域以外の「肝炎コーディネーター制度」が始まり3年になります。昨年は、その養成研修会とそのスキルアップ研修会に加えて交流会が開かれました。拠点病院の相談員、保健業務従事者、そして患者会会員が同席しての交流会はそれぞれの立場を確認する上で大変意義があると思えました。少しずつですが前進しているのは喜ばしいことです。

既にお気づきだと思いますが、会報の「肝臓のひろば」やホームページに治験情報を掲載しています。新しい薬剤を心待ちにしている患者には大切な情報

です。また、治験に必要な数の患者を集めるのが大変だった製薬会社にも利点があります。患者会としては、多くの患者に希望の光が届くことは喜びです。

肝がん・重度肝硬変まで重篤化した患者への福祉はまだ十分ではありませんが、昨年4月より医療費助成の条件がいつそう緩和されましたが、まだ実績を確認するに至っておりません。上部団体の日本肝臓病患者団体協議会は、その動向を注視することとして今年度の国会請願と国会での院内集会を見送ることに決定しています。

最近の医療講演会のテーマは、脂肪肝が多くなっています。ウイルス性肝炎と同じくらい肝がん発症が増えると警告されています。多くの人が脂肪肝を警戒すべき病気だと思っていないことが一番の問題です。症状が出て気が付いた時には手遅れという事例が多いのも特徴です。患者会としても啓発を工夫しなければならぬと考えています。

NPO法人東京肝臓友の会は、患者の想いを世の中に伝えていくために、いろいろな困難を乗り越えてきました。会員の皆様をはじめ、肝臓学会や専門医の先生方、また、私たちの活動に協賛して下さる団体、企業の皆様の暖かいご支援、ご協力を今年も引き続き寄せてくださいますようお願い申し上げます。

2 新年のごあいさつ
東京肝臓友の会理事長 川田義広

3 宮川庚子記念研究財団 第29回肝臓病医療講演会

「放っておくと怖い脂肪肝
～あなたは大丈夫ですか～」

講師：朝比奈靖浩先生

(東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 消化器病態学分野 肝臓病態制御学 教授)

・質問大会

36 ジコメン・メディカル

37 PBC・AIH・PSC通信

38 活動日誌 (12月、1月)
情報BOX

患者会からの行事案内

医療講演会のお知らせ

(公財) 宮川庚子記念研究財団 第29回肝臓病医療講演会

放っておくと 怖い脂肪肝

～あなたは大丈夫ですか～

連合会館

日時:2024年9月29日(日)

講師:朝比奈 靖浩先生

(東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 消化器病態学分野 肝臓病態制御学 教授) ※文中敬称略

司会(米澤敦子) 東京肝臓友の会
という肝臓病の患者会を運営して
おります米澤敦子と申します。

それでは朝比奈先生の講演に入る
前に、朝比奈先生のご紹介をいた
します。1988年に滋賀医科大学
をご卒業後、東京医科歯科大学医
学部第二内科に入局されました。

96年、米国コネチカット大学医学部
を経て、98年に武蔵野赤十字病院
消化器科に移られました。2009
年には同院消化器科の部長になら
れ、12年から東京医科歯科大学消
化器内科の教授でいらつしやいます。

それではさっそく「放っておくと
怖い脂肪肝」あなたは大丈夫です
か?」をテーマにお話いただきま
す。朝比奈先生、どうぞよろしくお
願いいたします。

朝比奈 米澤さん、ご紹介をありが
とうございます。東京医科歯科大
学の朝比奈です。今日は日曜日の
午後で、ちょっとあやしい天気なの
か、わざわざこの講演会に足をお運

びいただきまして大変ありがとうございます
ございます。今日ここでみなさんの前
でお話しさせていただくことを、私
はとても光栄に思っております。

まず最初に私の大学について、
少しお話をさせていただきます。いま私
は「東京医科歯科大学の朝比奈で
す」と申しあげましたが、実はこの
大学、明日でなくなります(笑)。

と申しますのも、今私が働いてお
ります東京医科歯科大学は、あさつ
て10月1日に、東京工業大学とい
う、理工科系では世界的にも立派
な大学と統合して、新しく「サイ
エンス東京(Science Tokyo)」とい
う大学になります。あまり大学ら
しい名前ではないとお感じになら
れたかと思いますが、これは英語
名の略称で、正式な日本名は、こ
こにも書かいてありますように、

「東京科学大学」となります(図1)。
ということでは東京医科歯科大学
という名称の大学はなくなります
が、これまでの伝統はきちんと受け
継がれて、新しく東京科学大学に生



(公財) 高川庚子記念研究財団
第29回肝臓病医療講演会
2024年9月29日

放っておくと怖い脂肪肝 ~あなたは大丈夫ですか?~

東京医科歯科大学 消化器内科
(肝臓病態制御学講座)

朝比奈靖浩



Institute of
SCIENCE TOKYO

東京医科歯科大学と東京工業大学が統合し
2024年10月1日にScience Tokyo 東京科学大学が誕生

まれ変わるので、私はむしろ楽しんで
しております。もちろん、今、医
科歯科大病院に通って来られてい
る患者さんたちも、病院は「東京科
学大学病院」として変わらず受け継
がれていきますので、どうぞご安心
ください。

東京工業大学と言えば、ノーベル

賞を受賞された大隅良典先生をは
じめ、卓越した研究者がたくさんお
られる大学です。では、なぜ今、理
工学の最高峰の大学と医療系の私
たちの大学が一緒になるのかとい
うと、それは医療の分野の発展には理
工学の進歩が密接に関係してい
て、

その連携がとても重要だからです。
日常の患者さんの診療においても重

要で、例えば今始まっている人工知
能、AIを使った診断も、理工学の
進歩がないと進まないですし、また
身近なところではロボット手術やロ
ボットによる介護というのも、工学
分野の開発なしには進みません。

そして、もう少し先を見据える

と、東工大が得意とする量子科学と
の連携が重要になると思っています。
アインシュタイン先生の特相相
対性理論などを勉強されたことがあ
る方もいらつしやるかと思いま
す。ああいった普通では理解しがた
い科学も、実はもうすでに医学の分
野に応用されているものもありま
す。最も身近な例を挙げるとすれ

ば、MRI検査(核磁気共鳴診断装
置)の進歩ですね。また、コンピユ
ータ分野では量子コンピュータの実用
化が進んでいると言われています
が、私たち医学の分野でもそれを活
用した研究が始まっています。

私は肝臓という大きな臓器を相

手にしていますが、肝臓はたくさん
の目には見えない小さな細胞から成
り立っていますね。これまでは肝細
胞など肝臓を構成する細胞を相手
にするような医学(細胞生物学)が
進んできていました。そして、最近
ではさらに細かくなり、細胞の中
にある分子を相手にするような医学
(分子生物学)が進んできて、例え
ば、みなさんも「分子標的薬」とい
う治療薬がたくさん開発されてき
て、いろいろな分野の治療法が格段
に進歩していることはご存知かと思
います。

そして、さらに分子を細かくして
いくと原子になって、その原子は何
でできているかという量子、いわ
ゆる素粒子でできているんですね。

素粒子というと原子炉や原子物理
学、あるいは宇宙科学の世界の話だ
から、自分たちの日常生活には直接
関係ないと感じられるかもしれませ
んが、実はそういったものが今後医
学分野でも身近になっていくこと
が、東工大の先生方とお話するに
つれよくわかってきました。また反
対に、彼ら理工学においても、私た
ち医学と手を取り合うことで進歩

することができ、連携がとても重要
なのだど仰っておられました。した
がって私たちの大学も、東工大と一
緒になることで、新しい医学分野の
イノベーションを起こせるのではな
いかと、胸を膨らませているところ
です。

東京科学大学という名前はいま
までなかったものなので、今日はず
ひ覚えて帰っていただけだと思います。
そして新しいできた人も帰りに
御茶ノ水駅に行かれると、私ども
の大学の建物が見えると思います。
今朝私が見たら、建物にはまだ「東
京医科歯科大学」と書いてありまし

★PSCオンライン交流会のご報告

2025年1月26日(日)午後、ZoomにてPSCオンライン交流会を開催し、8名の会員さんにご参加いただきました。参加者の内訳は本人6名・家族2名、患者本人の性別は男性2名・女性6名でした。話し合われた内容について簡単にご報告します。

●それぞれの近況報告

検査や治療による入院の経験、移植の経験、症状の変化などを報告し、そのときどんなことを考えたか、感情がどう動いたかなども話し合えたので良かったです。

●医療の進歩に対する期待

皆が新しい薬、治療法、技術などを待ち望んでおり、経験や情報を交換しました。

●潰瘍性大腸炎の治療と症状の共有

今回も参加者の半数以上が潰瘍性大腸炎を合併しており、現在の症状や治療など関連する話題が必然的に多くなりました。患者数が20万人以上にもなる潰瘍性大腸炎の研究から、PSCの治療につながってほしいという声が上がりました。

●日常生活での工夫

ストレスや気温差による体調への影響、食事内容の大切さと改善のヒント、運動の重要性などについて意見を交換しました。

昨年は10月に東京で、11月に兵庫で、対面のPBC・AIH・PSC交流会を開催しました。今年も対面での交流会を開催して皆さんにお会いしたいと思っています。

また、東京肝臓友の会では電話相談も行っておりますので、お気軽にご相談ください。(電話：03-5982-2150、火・木・金10時～16時)

今年もどうぞよろしくお願いたします。(PBC・AIH・PSC部会 古川)

東京肝臓友の会 活動日誌 12月・1月

12月 電話 25件 メール 1件

1月 電話 38件 メール 4件

12/3	東京都肝炎コーディネーター交流会@浜松町、米澤	12/24	「東京肝臓のひろば」263号発送、山田、及川、加藤、古川
12/5	佐賀県肝炎医療コーディネーター養成研修会「患者の声」入稿、米澤	12/25～1/6	東京肝臓友の会冬期休暇
12/6	佐賀大学医学部付属病院井上肝臓専門医Webミーティング、米澤	1/6	江口研究班、患者肝炎コーディネーター部会開催米@大門 及川、加藤、阿曾、米澤
12/7	八橋班、作業部会、「大人のラヂオ」収録、ゲスト八橋先生、中島弁護士、及川さん、米澤	1/7	「大人のラヂオ」1/10放送分オープニング、エンディング収録、米澤
12/10	「東京肝臓のひろば」263号校正原稿入稿、米澤 第33回肝炎対策推進協議会について厚労省面談、及川、米澤 全国3団体肝炎フォーラム@半蔵門B肝事務所、及川、米澤	1/9	イブセン、PMP来訪イベント報告、米澤
12/11	ラジオ紹介映画試写会、米澤 東京都肝炎コーディネーター交流会@立川、米澤	1/11	八橋班作業部会、及川、米澤 「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究」班第2回総会、古川
12/14	八橋班シンポジウム@松山、及川、米澤	1/13	3団体偏見差別PT@半蔵門 及川、米澤
12/15	八王子肝友会40周年記念イベント、白井、川田、萩部、阿曾	1/14	江口班班会議、Web出席@江口病院、米澤
12/16	東京都肝炎コーディネーター交流会Web反省会、米澤	1/15	佐賀県江口病院ピア外来、八橋班開催グループワーク打ち合わせ、米澤
12/17	さくら中野会計事務所会計指導Web、古川、川田	1/16	ノボノルディスクファーマ(株)来訪、患者の現状面談、米澤
12/18	佐賀県江口病院、ピア外来、米澤	1/19	東京肝臓友の会、「2024年度第1回医療講演会改めなんでも相談会」 山田、及川、加藤、古川、阿曾、米澤
12/20	科研製薬(株)来訪、活動について面談、米澤 アップイ来訪、ご挨拶、肝臓病患者について面談、米澤 3団体偏見差別PT@半蔵門	1/21	P1クリニック来訪、活動について、米澤、
12/21	ラジオNIKKEI「大人のラヂオ」1/10放送分収録、ゲスト ビーベックの池崎悠さん、@虎ノ門スタジオ、米澤 「大人のラヂオ」2025年の企画打ち合わせ、米澤	1/24	東京肝臓友の会理事会Web開催、川田、野田、萩部、山田、古川、米澤
		1/26	PSCオンライン交流会、古川
		1/30	東京都障害者福祉会館にてピア面談相談 米澤

同病者による面談相談

☆肝臓病のこと、生活のこと、なんでも お気軽にご相談ください☆

日時: **3月30日(日) 4月30日(水)**

13時30分～16時30分 (1人1時間)

場所: 東京都障害者福祉会館1階 相談室

対象: 東京都在住、在勤の方優先

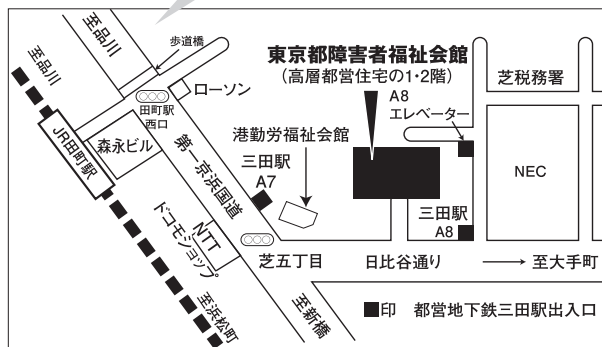
主催: 東京都

相談料: 無料(予約制)

相談員: 米澤敦子(東京肝臓友の会 事務局長)

【交通案内】

- ◆JR「田町駅」西口徒歩5分
- ◆都営三田線「三田駅」出口A8 徒歩1分
- ◆都営浅草線「三田駅」出口A7 徒歩1分



申込方法

※電話でお申し込みください。

【申込先】都障害者福祉会館相談係

〒108-0014 港区芝5-18-2

☎ 03 (3455) 6321

情報BOX

◆八王子肝友会

「何でも語ろう会」

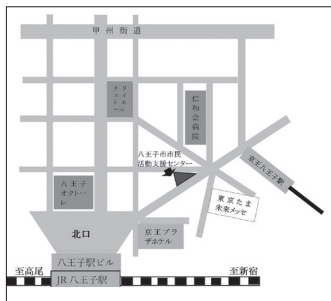
会員の近況報告や情報交換

日時 4月6日(日) 10:15～12:00

場所

八王子市市民活動支援センター会議室

八王子市旭町1-1ファルマ802ビル5F



JR中央線
八王子駅北口 徒歩約5分
京王線
京王八王子駅中央口 徒歩約3分

申込 要(4月3日まで)

問合せ 東(ひがし)

✉ yhigashi@com.zaqne.jp

会のHP 2次元コードまたは

<https://kanyukai802.blog.jp/>



◆小金井地区肝友会

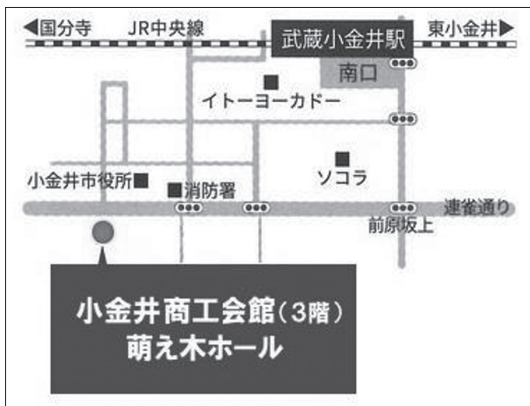
「第40回総会」

4月27日(日) 13:30～14:00

小金井市市民会館萌え木ホール

小金井市前原町3-33-25

(最寄り駅JR武蔵小金井駅南口)



申込..なし(会員には通知済み)

問合せ..小金井地区肝友会事務局

井川 ☎ 042-383-2060

「何でも語ろう会」

総会後に開催しますので、小金井以外の方もぜひご参加ください。

NPO法人 東京肝臓友の会 主催
東京都委託事業

PBC・AIH・PSC 医療講演会のお知らせ

「自己免疫性肝疾患を学ぶ」

日時 2025年 **3月23日**(日) 13:30~15:00

講師 中本 伸宏 先生 (慶應義塾大学医学部消化器内科 准教授)

会場 田町グランパークカンファレンス 401 ホール
(東京都港区芝浦 3-4-1 田町グランパークプラザ棟)
※JR 田町駅 芝浦口(東口) 徒歩5分

原発性胆汁性胆管炎(PBC)、自己免疫性肝炎(AIH)、原発性硬化性胆管炎(PSC)について、厚生労働省研究班のメンバーである中本先生に、治療と研究の最新情報も含めて詳しくお話しいただきます。

要申込

定員
100名

入場
無料

電話 または web にて、東京肝臓友の会までお申し込みください。



03-5982-2150

祝日を除く 火・木・金、10時~16時



<https://tokankai.com/archives/5363> に

アクセスして、申込フォームにご入力ください。

(QRコードあります)

